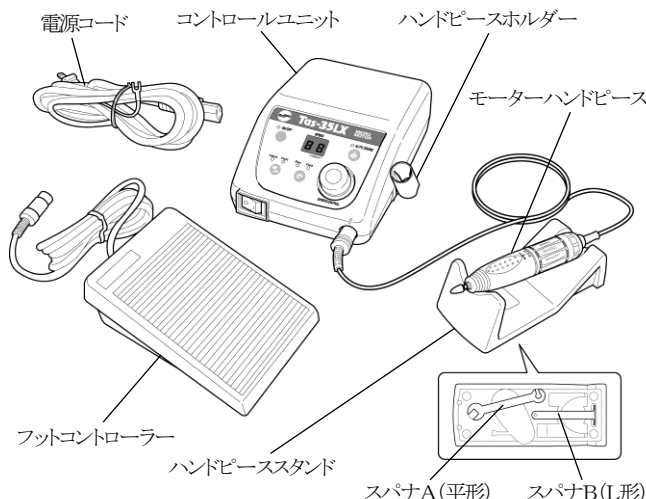


機械器具 61 歯科用ハンドピース
 一般医療機器 歯科技工用電動式ハンドピース 70746000

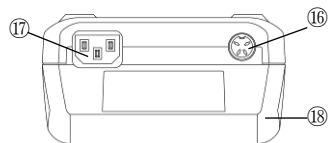
タスー35LX

※【形状・構造及び原理等】

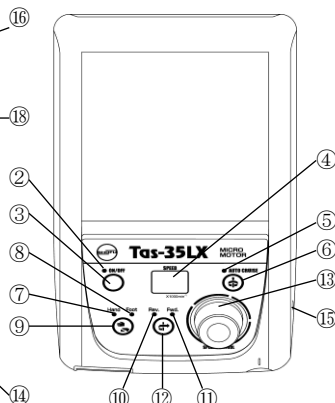
※1) 構成及び各部の名称



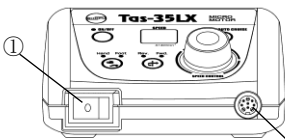
<背面図>



<天面図>



<正面図>



名称	
① 電源スイッチ	⑩ 逆回転ランプ
② モーターON/OFFランプ	⑪ 正回転ランプ
③ モーターON/OFFスイッチ	⑫ 正逆切替スイッチ
④ 回転速度表示	⑬ 回転速度調整ツマミ
⑤ オートクルーズランプ	⑭ モーターコネクター
⑥ オートクルーズスイッチ	⑮ ハンドピースホルダー取付口
⑦ ハンドランプ	⑯ フットコントローラーコネクター
⑧ フットランプ	⑰ インレットボックス
⑨ ハンド/フット切替スイッチ	⑱ カバー

※2) 電氣的定格

型式: STS35LX-CU
 電源入力: AC100V 50/60Hz 42VA (定格消費電力: 30W)
 出力: DC35V 0.6A
 電撃に対する保護形式の分類: クラス I 機器

※3) モーターハンドピースの性能

型式: STS35LX-M
 回転速度: 1,000~35,000min⁻¹
 最大出力: 71W
 最大トルク: 4.3N・cm

※4) 動作保証条件

下記の条件にて使用すること。
 温度: 0 - 40℃
 湿度: 30 - 75%

5) 原理

コントロールユニットから供給された電力によって、モーターハンドピース内のマイクロモーターが回転する。その回転をハンドピースが受け、ハンドピース先端に取り付けた歯科技工用回転器具を回転させる。

※【使用目的又は効果】

歯科技工作業における研削・研磨作業に用いる。

※【使用方法等】

※1) 使用前準備

- ① コントロールユニットにモーターハンドピース、電源コードを接続する。
- ② コントロールユニットにフットコントローラーを接続する。(ハンド操作のみで使用する場合は、接続の必要無し)
- ③ ハンドピースホルダー取付口にハンドピースホルダーを取り付ける。
- ④ 電源コードを医用コンセント (AC100V) に接続し、回転速度調整ツマミを最低の位置 (左へいっぱい回した位置) にセットする。
- ⑤ 電源スイッチをONにする。ONにした時、回転速度表示が点灯される。
- ⑥ 回転方向を正逆切替スイッチにより選択する。
- ⑦ 操作方法をハンド/フット切替スイッチにより選択する。
- ⑧ モーター部を持ち、ハンドピース部を指標 (OPEN) の矢印方向に止まるまで回し、チャックを開く。
- ⑨ 使用する歯科技工用回転器具 (以降は、研削材という) の軸部をチャックの底まで差し込む。
- ⑩ モーター部を持ち、ハンドピース部を指標 (LOCK) の矢印方向に止まるまで回し、軸をチャックに保持させる。
- ⑪ 【保守・点検に係る事項】に記載の方法に従い使用前点検を行う。

※2) 使用方法

<ハンドによる操作>

- ① ハンド/フット切替スイッチでハンドを選択する。
- ② 回転速度表示を見ながら、使用する研削材に適した回転速度を回転速度調整ツマミで設定する。
- ③ モーターON/OFFスイッチを押すとモーターが回転する。
- ④ モーターを停止させる時は、再度モーターON/OFFスイッチを押す。

<フットコントローラーによる操作>

- ① ハンド/フット切替スイッチでフットを選択する。
- ② 回転速度表示を見ながら、使用する研削材に適した回転速度を回転速度調整ツマミで設定する。
- ③ フットコントローラーを踏むとモーターが回転する。回転速度は踏み込み量により、②で設定した最高回転速度範囲内で調節できる。
- ④ モーターを停止させる時は、フットコントローラーから足を離す。

※3) 使用后

- ① モーターハンドピースをハンドピースホルダー又はハンドピーススタンドに戻し、電源スイッチをOFFにする。
 - ・メモリー機能
 回転方向、ハンド/フット切替スイッチの設定は、電源スイッチをOFFにした時の設定が記憶される。
- ② 作業終了毎に、【保守・点検に係る事項】に記載の方法に従い清掃を行う。

※【使用方法等】に関連する使用上の注意

- ・使用前点検時、又は使用中にガタつき、振動、音、温度 (発熱) 等の異常を感じた場合、直ちに使用を中止し、取扱説明書に記載の方法に従い対処すること。

取扱説明書を必ずご参照ください。

製造の日から、正規の保守点検(消耗品の交換を含む)を行った場合に限り7年間[自己認証(製造販売元データ)による]とする。

*【保守・点検に係る事項】

**1) 清掃

＜チャック＞

- ① モーター部を持ち、ハンドピース部を指標(OPEN)の矢印方向に「コツン」という音がして止まるまで回し、チャックを開く。
- ② 研削材を付けたままで、付属スパナA(平形)の「5.1」側の穴を使いチャックを反時計方向に回して取り外す。
- ③ チャックをスチームクリーナー、ブラシ、超音波洗浄器等を利用して洗浄する。
- ④ 乾燥後に必ず、チャックのテーパ部に、スピンドル油等を薄く油膜が付く程度に塗布する。
- ⑤ モーター部を持ち、ハンドピース部が指標(OPEN)の矢印方向に止まるまで回っていることを確認する。
- ⑥ オイルが塗布されたチャックに、購入時付属のテストバー 又はご使用の研削材を挿入する。
- ⑦ チャックをハンドピース部に挿入して、指で時計方向に回らなくなる程度までねじ込む。
- ⑧ 付属スパナA(平形)の「5.1」側の穴を使ってしっかり締める。
- ⑨ モーター部を持ち、ハンドピース部を指標(LOCK)の矢印方向に止まるまで回し、チャックを閉じる。研削材の保持具合を確認する。

・ 清掃に関する注意

週に1度は必ずチャックを取り外して清掃すること。

**2) 使用者による保守点検事項

＜使用前点検＞

使用開始前に予め回転させてガタつき、振動、音、発熱等の異常がないことを確認する。(毎回)

＜消耗品の交換＞

カーボンブラシが摩耗した場合は新しいものに交換する。

*【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元:株式会社ナカニシ

TEL:0289-64-3380(代表)

FAX:0289-62-5636

販売元:株式会社 松風

TEL:075-561-1112(代表)

- ・ 電源コードをインレットに接続、又はインレットから取り外す際は、電源プラグをコンセントから抜いて行うこと。
- ・ コントロールユニットは必ず平らで安定した場所に置くこと。
- ・ コントロールユニットは室温0 - 40℃の範囲内で結露のない状態で使用すること。
- ・ コード類はガスバーナーや熱源の近くを通らないようにすること。もしコード類が燃えた場合には補修せずに新品に交換すること。
- ・ 煙が出たり、異臭がする等の異常が発生した場合、直ちに電源スイッチをOFFにして、電源プラグを抜くこと。
- ・ 万が一の時、速やかに電源コードがコンセントから抜けるように、コントロールユニットの後ろに10cm位の間隔を確保するように置くこと。
- ・ 研削材をチャックに装着する時は、軸がチャックの底に突き当たるまで深く差し込み、半チャックでないことを確認すること。
- ・ 研削材装着後は、研削材を引いて確実に装着されていることを必ず確認した上で使用を開始すること。
- ・ 振れ、曲がり、傷、シャンク部に摩耗がみられる研削材は使用しないこと。
- ・ 装着する研削材、又は研削材のシャンクはゴミ等の付着がなく清潔なものを使用すること。
- ・ 作業部(頭部)の大きな研削材(φ4mm以上)やディスクを使用する際は、注意して低い回転速度で使用する。
- ・ 回転中の研削材には触らないこと。
- ・ モーター回転中はチャックを開閉しないこと。特に研削材交換の際は、回転が完全に停止してから行うこと。
- ・ チャックが指標(LOCK)になっていない時、又は研削材を装着していない時はモーターを回転させないこと。
- ・ モーターハンドピースは絶対に注油しないこと。
- ・ 保護回路が作動するような負荷での使用は避けること。
- ・ 中低速で長時間連続して使用しないこと。適度な冷却時間を設定して使用すること。
- ・ チャックの精度保持のため、使用しない時もテストバー又は研削材を装着しておくこと。
- ・ チャックの清掃は怠らないこと。
- ・ チャックが摩耗した時は新しいものへ交換すること。
- ・ 製造販売元が指定する電源コード以外のコードをコントロールユニットに接続して使用しないこと。

*【使用上の注意】

**1) 重要な基本的注意

- ・ 引火性のものや可燃物の近くで使用しないこと。
- ・ 水のかかるような場所で使用しないこと。
- ・ 取扱説明書等の内容以外の分解や改造は絶対に行わないこと。
- ・ 電源は医用コンセントを使用し、必ず接地を施すこと。
- ・ 研削・研磨時は、防塵メガネ、研磨ボックス、バキューム等を使用すること。
- ・ 本器の周囲に可燃性ガス又は液体のないことを確認してから使用すること。
- ・ 使用する研削材の添付文書等に従って、必ず許容回転速度範囲内で使用すること。
- ・ 電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理な力を加えたりしないこと。また、重い物を載せたり挟み込んだりしないこと。
- ・ 使用後は電源スイッチを切ること。また、長期間使用しない時は電源プラグをコンセントから抜くこと。
- ・ 本器は、歯科医療従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

**2) その他の注意

落下等の強い衝撃を与えないこと。

*【保管方法及び有効期間等】

**1) 保管の条件

下記の条件にて保管すること。

温度:-10 - 50℃

湿度:10 - 85%

気圧:500 - 1,060hPa

2) 耐用期間